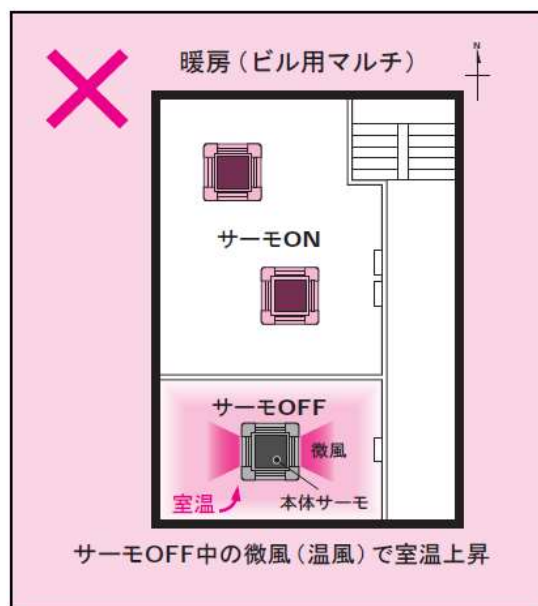


設備工事情報シート	空 調	Ⅳ－A－3	制 定	2008年4月1日
			改 訂	2016年3月1日
Ⅳ. アフタークレーム	隣室温度調整		ビル用マルチ	

1. 目的・概要

オフィスビルなどでは1つの室外機に対して複数の室内機と組み合わせる電気ヒートポンプ式空調方式（いわゆるビル用マルチ）が多く採用されている。このうち冷暖切替型では、暖房時に対象室が暑いためローカルリモコンにて温度を下げてにもかかわらず室温が下がらないという現象が起こる場合がある。このような場合の処置方法を以下に述べる。

2. 不具合事例



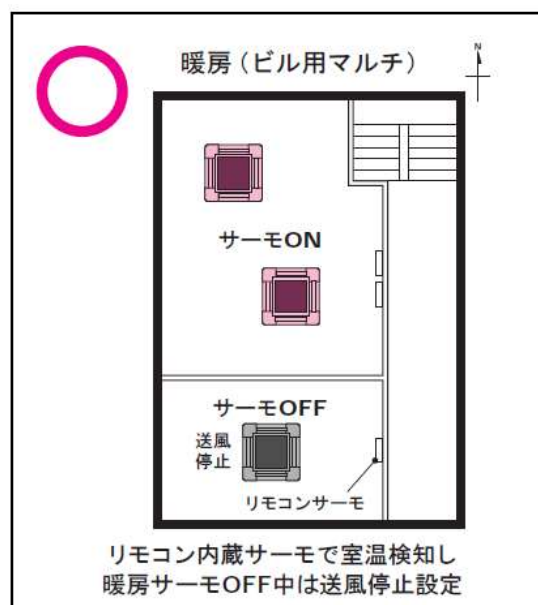
【現象】

暖房負荷が小さい部屋と大きな部屋が同一冷媒系統に接続されている場合、サーモOFF中のわずかな吹出し熱量により室温が上昇する場合がある。

【原因】

- サーモOFF中の室内機は、
- (1) 室温検知のため微風運転している
 - (2) 室内機内部への冷媒溜まりこみを防止するため、若干膨張弁を開いている

3. 処置方法



- (1) 暖房サーモOFF中は、「送風機を停止する」という設定を行う
- (2) 室温センサーを「リモコン内蔵センサー」に切替える

※「送風機を停止する」設定とした場合、送風機が停止状態のため本体サーモでは、室温でなく本体内の熱で制御を行ってしまう。
従って、別に室温を感知できるものが必要となり(2)の設定を行う。

※処置できるか否か、また、その方法は各メーカー及び機種により異なるので採用メーカーに処置方法を確認すること。

資 料

以降に三菱電機製ビル用マルチの場合を示す。

4. 設定手順

※07/9現在。新機種では変更になる可能性がある。

(1) 暖房サーモOFF時に室内機のファンを停止する方法

室内機制御基板上のSW1-7、1-8をONにする。

(2) 室温センサーを「リモコン内蔵センサー」に切替える方法

室内機制御基板上のSW1-1、3-8をONにする。

※リモコンの種類により、リモートセンサーが内蔵されていない場合は、別売ルームサーモで室温を検知する必要がある。

5. 処置可能機種一覧

(1) 室内機 全機種（除く外気処理エアコン・クリーンルームエアコン）

97年製以降製造品より対応可能

(2) 室外機 全機種（除く冷暖同時機種）

6. 冷暖フリービルマルチの場合

冷暖同時型はサーモOFF中に室内機へ冷媒が流れない制御を実施しているので、前述のような現象は発生しない。

7. 問い合わせ先

三菱電機住環境システムズ株式会社

東京支社 空調冷暖商品部 空調営業課 TEL 03-3847-4337

FAX 03-3847-4288

三菱電機冷暖相談センター（冷暖システム製作所内）

ビル用マルチエアコン TEL 0037-80-2224（フリーボイス）

TEL 073-427-2224（携帯・IP電話対応）

（月～土曜 9:00～19:00）

（日曜・祝日 9:00～17:00）

FAX 0037-80-2229（フリーボイス）

FAX 073-428-2229（通常FAX）

FAX（365日・24時間受付）